

特集 2

# 新春トップセミナー

## ブルーオーシャンプロジェクト

～ 2025年 大阪・関西万博のパビリオンを通じて考える ～

- 日時：2023年1月25日(水) 午後4時～6時
- 会場：セントレジスホテル
- 会場定員：50名 (参加費 5000円) ●オンライン (無料)

主催：(一社) 生産技術振興協会  
共催：(公財) ブルーオーシャンファンデーション・(一社) 大阪大学工業会  
後援：大阪商工会議所・(一社) 関西経済同友会・(公財) 大阪観光局



### 開会挨拶

一般社団法人 生産技術振興協会 理事長 堀池 寛

皆様 新年あけましておめでとうございます。  
昨年中は当協会の諸事業に多大なるご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。また引き続き本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて新年に際しまして当協会を代表してご挨拶申し上げます。生産技術振興協会、大阪大学生産技術研究会では大阪大学をはじめ在京阪神各大学と共に関西の産業界各社様との色々な事業を展開しております。主な事業は 各社様の産業振興を目指す大学での研究内容の斡旋、共同研究のご案内、事業企画委員会とアライアンス委員会の企画によります色々なセミナーとシンポジウム、若手の先生方や学生が海外での国際会議にでかけるための海外論文発表奨励事業、と逆に海外の著名な方をお招きする海外講師講演会奨励事業があります。2年ほどコ

ロナウイルスパンデミックにより交流事業は中断しておりましたが昨年後半から再開しております。今年には多くの交流事業が行われることを期待したいと思います。昨年は未来エネルギー分科会にて近経局の伊吹局長をお招きして水素火力と原子力のシンポジウムを行い、12月にはアンモニアのエネルギー資源への応用についてのセミナーを行いました。ウクライナ戦争を受けてのエネルギー問題についての種々の議論がタイミング良く展開できたと思います。

エネルギー問題と産業振興という意味では、近年は宇宙航空への民間の起業に加えて、核融合発電の民間企業が設立されています。これは強力な磁場/磁力線を発生させるコイルの超伝導技術にて技術革新が進んでいることによります。従来の絶対温度の



4度で動作する超伝導コイルから、20度という高い温度でも動作する高温超伝導コイルが開発され、装置の大幅な小型化と建設費のコストダウンが見込める時代になったという技術革新が反映された結果です。そう云う情報を早期に取り入れられる高市早苗代議士の情報力はすごいと思います。当協会でも核融合の実現性、民間での起業の可能性について未来エネルギー分科会講演会を開催したいと考えております。

大阪大学の研究連携活動としては基礎工学研究科、接合科学研究所、情報科学研究科との産学交流会を行い、大勢の一般の方々にご参加頂きました。

一昨年6月に大阪ブルーオーシャンビジョンが発表されましたが、それを受けて2025年大阪・関西万博を機に産官学で取り組む海洋保全についてのブルーオーシャン・イニシアチブと称する、第1回「大阪湾プラごみゼロ拠点」ワークショップを開催し、また研究期間大学の研究者によるマイクロプラスチックの影響と海洋汚染についての研究発表会などいろいろ活発な活動を行なっています。

本日のセミナーでは2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）におきまして、「ゼロエミッション」構想を掲げて廃棄物ゼロの社会を目指す、NPO法人ゼリ（Zero Emission Research and Initiative: ZERI）・ジャパンによります、豊かな海洋を次の世代に残していくための色々な施策を展示するパビリ

オンを取り上げ、これを設計された世界的な建築家で慶応大学教授の坂茂先生と、NPO法人ZERIジャパンの代表理事でサラヤ株式会社社長更家悠介 当協会専務理事に講演をお願いしております。

坂茂先生は、1)カーボンファイバー、紙管、竹という材料を使った建築構造、2)廃棄物を徹底的に削減した建築を進め、これらが、日本が世界に先行する先端技術として、近未来の建築の材料や工法として実現され社会に広く普及・展開していくことを目指されております。

続きまして2025年の大阪・関西万博により関西が躍進する起爆剤にするために、そこに残されるであろうレガシーを活用し、幅広い産業と連携し、付加価値の高いMICE：会議、研修、旅行、コンベンション、イベントの誘致についての取組みの構想につきまして大阪観光局 理事長の溝畑宏様にご講演をお願いしております。

最後にご講演頂きましたお三方の講師をパネラーにお迎えしてパネルディスカッションを行います。そのコーディネータは関西経済同友会の代表幹事の生駒京子さまをお願いしてございます。

以上ですが、本日は最後までどうぞよろしくご静聴ご議論をお願いします。

以上簡単ですがご挨拶といたします、よろしくお願ひします。

